

令和5年度 大阪府立成美高等学校 学校教育自己診断

【対象:生徒】

対象者数 577

回答者数 501

回答率

86.8%

質問項目	回答区分・回答数				1.よくあてはまる 2.ややあてはまる 3.あまりあてはまらない 4.まったくあてはまらない																肯定意見 (1+2)
	1	2	3	4	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%						
1 学校に行くのが楽しい。	161	217	77	46																	75.4%
2 自分のクラスは楽しい。	197	193	79	31																	78.0%
3 この学校には、他の学校にない特色がある。	216	211	49	23																	85.6%
4 選択科目は多様なものがあり、自分の学びたいことができる。	210	212	59	18																	84.6%
5 授業はわかりやすく、集中して受けることができる。	109	278	93	19																	77.6%
6 授業では、実験・観察・実習をしたり、学校外へ見学に行く機会がある。	90	190	152	65																	56.3%
7 授業で自分の考えをまとめたり、パソコンなどを使用して発表する機会がある。	166	212	87	33																	75.9%
8 教え方に工夫をしている先生が多い。	147	247	90	15																	79.0%
9 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	149	230	90	29																	76.1%
10 先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	166	236	72	21																	81.2%
11 学習の評価の方法や基準について、納得できる。	169	244	61	20																	83.6%
12 担任の先生以外に保健室等で、悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる。	169	198	89	39																	74.1%
13 先生は協力して生徒を指導している。	175	243	64	15																	84.1%
14 先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる。	200	208	60	27																	82.4%
15 学校生活についての先生の指導は納得できる。	156	216	85	38																	75.2%
16 学校は、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	165	242	66	23																	82.1%
17 授業やホームルーム等で、将来の進路や生き方について考える機会がある。	154	240	78	24																	79.4%
18 学校は、進路について情報を知らせてくれる。	175	239	57	24																	83.6%
19 学校は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。	186	224	60	23																	83.2%
20 ホームルーム活動は活発である。	157	249	64	26																	81.9%
21 文化祭は周り協力しておこなえる。	240	189	43	25																	86.3%
22 体育祭は周り協力しておこなえる。	241	197	31	25																	88.7%
23 生徒会活動は活発である。	175	220	66	32																	80.1%
24 部活動体験・仮入部などを通して部活動の活性化に工夫している。	152	215	82	44																	74.4%
25 総合やホームルームなどの時間に、多文化理解公演会などの機会を通じて人権について考える機会がある。	217	225	34	20																	89.1%
26 総合やホームルームなどの時間に、命の大切さや人間関係のルールについて学ぶ機会がある。	188	246	42	19																	87.7%
27 環境、国際理解、福祉ボランティアなどについて学習する機会がある。	173	241	58	23																	83.6%
28 先生は、責任をもって、授業やその他の仕事にあたっている。	190	246	41	17																	88.3%
29 学校で、事件・地震や火災などがあった場合、どのように行動したらよいか、知らされている。	180	212	79	24																	79.2%
30 教室・特別教室・運動場などは、学校生活が送りやすいように整備されている。	179	251	49	16																	86.9%
31 学校は生徒1人1人端末を効果的に活用している。	200	209	55	31																	82.6%
32 ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータやプロジェクターを使った授業がある。	252	188	36	19																	88.9%
33 他の先生が授業を見学に来ることがある。	103	213	139	38																	64.1%
34 先生は、成績などの個人情報や他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	246	202	27	20																	90.5%
35 授業や部活動などで、地域の人々がかかわる機会がある。	120	200	112	62																	64.8%
36 授業や部活動、学校行事などを通して、ほかの学校や支援学校・幼稚園・保育園などと交流することがある。	114	195	117	69																	62.4%
37 学校のホームページをよく見る。	77	138	103	174																	43.7%

質問項目	回答区分・回答数					1.よくあてはまる 2.ややあてはまる 3.あまりあてはまらない 4.まったくあてはまらない 5.わからない											肯定意見 (1+2)
	1	2	3	4	5	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	
1 生徒は学校や自分のクラスが楽しいと言っている。	36	45	26	9	4	<											

回答率 100.0%

質問項目	回答区分・回答数				1.よくあてはまる 2.ややあてはまる 3.あまりあてはまらない 4.まったくあてはまらない																肯定意見 (1+2)
	1	2	3	4	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%						
1 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	20	39	3	1																	93.7%
2 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	6	42	11	2																	78.7%
3 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。	13	46	3	0																	95.2%
4 年間の学習指導計画（シラバス）について、各教科で話し合っている。	16	26	19	1																	67.7%
5 指導内容について、他の教科の担当者と話し合う機会がある。	12	28	18	4																	64.5%
6 到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。	6	37	17	2																	69.4%
7 少人数指導、参加体験型学習やグループ学習などの学習指導の方法や内容について工夫している。	15	39	7	1																	87.1%
8 評価の在り方について話し合う機会がある。	13	35	13	1																	77.4%
9 カウンゼリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	16	40	6	0																	90.3%
10 生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	22	32	8	0																	87.1%
11 様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる。	15	34	12	2																	77.8%
12 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	21	36	6	0																	90.5%
13 生徒指導において、警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター等の関係諸機関との連携ができている。	19	38	3	0																	95.0%
14 生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。	18	37	5	3																	87.3%
15 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	16	39	8	0																	87.3%
16 ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	12	36	11	0																	81.4%
17 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	14	32	16	1																	73.0%
18 部活動の活性化について工夫している。	6	31	23	2																	59.7%
19 情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる。	8	38	15	1																	74.2%
20 教育活動において、生徒に命の大切さや社会規範、社会のルールを守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	19	37	6	1																	88.9%
21 人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	12	37	13	1																	77.8%
22 人権尊重の教育について、参加体験型の学習内容・方法を取り入れるなど感性を高める指導を行っている。	16	39	6	0																	90.2%
23 同問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。	10	43	8	1																	85.5%
24 在日外国人に対する偏見や差別のない社会をめざして、主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。	25	33	2	0																	96.7%
25 障がい者理解を深め、ノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している。	18	38	4	0																	93.3%
26 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。	21	39	2	0																	96.8%
27 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	27	34	1	1																	96.8%
28 教職員の服務規律への自覚が高い。	17	39	5	2																	88.9%
29 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。	13	36	12	2																	77.8%
30 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	12	35	13	1																	77.0%
31 図書館が生徒に活用されている。	5	33	19	6																	60.3%
32 コンピュータ等のICT機器が、授業などで活用されている。	25	35	2	0																	96.8%
33 初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	8	32	19	2																	65.6%
34 教育活動の情報提供の手段として、学校のホームページやメールが活用されている。	12	37	11	1																	80.3%
35 保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	10	35	16	0																	73.8%
36 教職員はPTA活動に参加している。	6	34	20	2																	64.5%
37 近隣の学校や支援学校などの校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	9	36	17	0																	72.6%